

# 郡内小山田氏年表

其の三

西曆	年号	事	項
一三九〇 一三九三	明德年間	小山田富春(弥二郎)金井富春山桂林寺開創。(桂林寺寺記)	
一四一六	応永二三	禪秀の乱起る。姻戚関係から小山田弥二郎・武田信満と共に上杉禪秀に味方する。 (鎌倉大草紙)	
一四九三	明応二	武田信繩、弟油川信恵と総領争いをする。小山田信長、同弥太郎、同平三ら血縁関係から油川信恵方を支援する。(妙法寺記)以下(妙)	
一四九四	明応三	武田信繩、弟信恵を敗る。(妙)	
一四九五	明応四	伊勢入道、都留郡侵入、和睦。(妙)	
一四九九	明応八	小山田信長、塩山向岳庵に田原領を寄付する。(向岳庵文書)	
一五〇一	文龜一	北条早雲、郡内に侵入し吉田城山・小倉山に築城、甲州勢これを撃退。(妙)	
一五〇八	永正五	武田信虎、叔父油川信恵と戦い、信恵親子討たれる。 武田信虎、小山田弥太郎・平三ら郡内勢と国中にて戦う。弥太郎死、平三(越中守信有)韭山に逃れる。(妙)	
一五一〇	永正七	武田・小山田両氏和睦。(妙)後に武田信虎が妹を越中守信有にめあわす。(甲斐国志)	

一五二一	永正八	羽根子大儀山長生寺創建。(甲斐国志)
一五一五	永正二	武田信虎、今川氏をうしろだてとする大井信達と争う。信虎敗戦し、信虎に加担した小山田大和守ら討死。(妙)
一五一八	永正二五	小山田越中守信有、今川氏と和睦。(妙)
一五二〇	永正二七	岩殿山円通寺坊寺常楽院の棟札に当郡守護平信有(小山田越中守)として名を表わす。(甲斐国志) 猿橋を架す。(妙)
一五二二	永正二八	信虎、小山田氏の中津森館を訪問。(妙)
一五二四	大永四	武田信虎猿橋に出陣北条氏綱と対す(妙)
一五二七	大永七	中津森に百坪の館を建てる。(妙)
一五二九	享禄二	越中守信有の母、遠州に姉を訪問。(妙)
一五三〇	享禄三	北条勢郡内に侵攻。越中守信有は八坪坂で北条氏綱に敗れる。(妙)
一五三二	享禄五 (天文元)	越中守信有奥方死去。(妙) 越中守信有、谷村館に移る。(妙)
一五三三	天文二	越中守信有、国中に七十坪の家をつくり出仕。(妙) 下吉田水論あり、越中守信有裁定する。(妙)

一五三五	天文四	都留郡山中で北条・今川連合軍と甲州勢戦い武田・小山田軍大敗。小山田弾正討死、下の検断討死、上下吉田焼かれる。(妙)
一五三八	天文七	北条氏綱、吉田新宿を夜襲、その後和談。(妙)
一五四一	天文一〇	越中守信有死去。(長生寺位牌) 出羽守信有相続。
一五四二	天文一一	諏訪攻略。小山田出羽守信有参戦。(甲陽軍鑑)
一五四六	天文一五	志賀城攻め、出羽守信有志賀城主夫人を恩賞として授かる。(妙)
一五四八	天文一七	出羽守信有、塩田原の戦で大功あり、田口城攻略に働きあり。(妙)
一五五〇	天文一九	出羽守信有、勝沼大善寺で能の勸進興業。(大善寺文書)
一五五二	天文二二	出羽守信有死去、会葬者一万人。(妙) 信茂相続
一五五四	天文二三	晴信女、北条氏政夫人となる。婚礼に信茂ヒキメ役を果す。(妙)
一五五九	永禄二	富士山雪代被害大。被災家臣の信州出兵を免ずる。信茂は小林和泉を奉行とし宮林を伐り川除け堤防となす。(妙)
一五六一	永禄四	登山所に奉行を置く。(小沢家文書) 小田原衆所領役帳に小山田弥三郎の所領記載さる。(北条文書) 関東出陣に際し信茂富士浅間神社に起請文を出す。(富士浅間神社文書) 川中島の戦(第四回) 小山田信茂の兵上杉軍を攻撃し名をあげる。(妙)

一五六七	永禄一〇	信茂、武田氏に起請文を出す。(生嶋足島神社)
一五六九	永禄一二	信茂、鉢形城・滝山城攻めの総大将をつとめる。小田原城攻めにも参加。(甲陽軍鑑) 出陣前に富士浅間神社に願書奉納。(富士浅間神社文書)
一五七二	元龜三	小山田軍三方ヶ原の戦で先鋒隊をつとめ大勝。(甲陽軍鑑)
一五七三	元龜四	信玄死去。小山田信茂、長生寺に寺領安堵状を出す。(長生寺文書)
一五七五	天正三	長篠戦に小山田衆も参戦したが武田勢大敗。(甲陽軍鑑)
一五七六	天正四	恵林寺にて信玄葬儀。信茂剣持役をつとめる。(武家事紀)
一五八二	天正一〇	信長・家康甲斐攻め。武田・小山田両氏亡ぶ。(甲斐国志)

(窪田 薫編)